



〒418-0033
富士宮市野中東町46-1

ワールド フォトプロジェクト
チルドレン

被災地支援で花の種
や肥料など届け

小中学校へ

非営利活動ワールド
チルドレンフォトプロ
ジェクト（W C P P ）
庄司博彦代表）はこの
ほど、被災地支援を続
けている福島、宮城、
岩手3県の小・中学校
など6校（園）を訪れ
花の種や肥料などを届
けた。富士宮市との関
係で、被災地支援を続
けていた。

W C P P は「被災地
の校庭に花を咲かせ、
子供たちの『こうの
復興』につなげたい」
と、新たな被災地支援
として「被災地の校庭
に芽吹け、小さな花の
種」を企画。緑化推進

わりの深い岩手県山田
町では佐藤信逸町長を
表敬訪問し、須藤秀忠
市長の応援メッセージ
を届けた。

静岡県グリーンバンク
から花の種（1200袋）、富士宮高校会議
所から、高校生が地元
企業と共に開発したS
DGs実践リサイクル
堆肥「マスマス元肥」
(30キロ)の提供を受け
た。

庄司代表とメンバー
の2人は今月上旬、12
日間の日程で被災地を
訪問。福島県の南相馬
市立小高小学校、宮城
県の石巻市立渡波中学
校、同市立万石浦中学
校、学校法人長浜幼稚
園、岩手県の山田町立
山田小学校、吉里吉里
つみこども園を訪問
し、校長や園長らと面
会し、花の種と肥料を
届けた。

このうち山田小学校
は被災後、周辺6校が
統合し、被害が少なか
った旧山田南小学校の
校舎で学んでいる。2
年後には山田中学校の
新校舎が誕生する予定で、
子供たちの新たな学び舎の花壇に花
を咲かせるという。

庄司代表は「自然と
共生する社会参画の一
環として、学校の片隅
に小さな花が咲いたら
、子供たちの心も癒



山田小を訪問した庄司代表（中央）



開花を待つ地域の花壇

やされると思う」と話
していた。

山田町は静岡県が復
興支援をしている自治
体の一つで、富士宮市
は震災直後から市職員
を派遣し、支援してき
た。庄司代表は須藤市
長のメッセージと絵は
がきを託され、佐藤町
長に届けた。佐藤町長
は富士宮市の支援に感
謝し、「感謝」という文
字を色紙にしたため
須藤市長に渡してもら
うよう庄司さんに預け
た。近く須藤市長に届
けるといふ。